Gaia に入っていない歩掛(見積歩掛)を登録する

見積歩掛

特定の工事で作成した表を全工事共通で使用できるように見積 歩掛へ登録することができます。

①工事内にて、

見積歩掛に登録したい表の号番号を選択し

右クリックメニューの

[選択されている行を見積歩掛へ登録(1)]を クリックします。

※複数行選択することができます。

積	算	大	系単価	一覧。	長別工事	5 付箋	元に戻す	中以面に	単語 再積上
自動の労	積 算 務 費	標準	金額 ▾	ランク ()巻湾)	H27①	•			
1 1 1		∑ 集計	C (11) (11) (11) (11) (11) (11) (11) (11	そ 8月新	■ 〔] ■ 明代	(代価)) 「 」 ■表 間接	已必 🗊 諸雑 小家	▮ 🤌 🔤 + 手書 注釈
-	付筆		書日	/17	種/種別	山/細り	別/規格	〕 単化) 数量
	7 946	~	独自步振		1467 14675	1/ 1/10/	517 79610	+ 14	A A AME
1				× 0	単価(K) 工種(S) 積算た成(行作成(コードブ 二単一一 切り取り コピー() 脳り付け 削除(D) 丸め(M)	系(Y) 日) G) 入力(E) - ド検索 - ド検索 つ(T) C) ナ(P))	^π (Ω)		Ctrl+F Ctrl+H Ctrl+M
				-	諸姓費行 元参照(5丸め() X)	∠)		
					選択 古北	17113	行を直定	(1)	
					対象行動	安定(⊻)		12 (32)	
						8(0)			
	_		-		夜の渡り	n(口)			
				_	見損単位	回へ登録	和(1)		
					選択され	17113	5行を見積	歩掛へ登録	R(<u>1</u>)
			-		表示して	ているま	反を見積歩	() 発堂へ伝	2)
					間接工具	同費の対	寸象(<u>A</u>)		
	_				プロパラ	ティ(<u>B</u>)			

※また、表示している表内で

右クリックメニューの

[表示している表を見積歩掛へ登録(2)]を

クリックして登録することもできます。

この場合、開いている表ごと、

見積歩掛へ登録されます。

	独自歩掛				
邃	名	称	/ 規格	単位	数量
	名 特殊作業員 普通作業員 n [*] -9林ウ(排対2 20-5型・山積0	林	規格 単価(広) 工程(S) 積算大系(Y) 表作成(L) 行作成(G) コード入力(E) 単価コード検索(Q) 工程コード検索(Q) 工程コード検索(Q) 工程コード検索(Q) 工程コード検索(Q) 活動り付け(P) 制除(D) 丸め(M) 諸経費行丸め(Z) 元参照(X) 選択されている行を再 対象行段定(Y) 対象行表示(E)	単位 人	数量 1: 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
			表の展開(Q) 見積単価へ登録(I)	retrained a second	
			道訳されている行を見 表示している表を見積	植歩掛へ登録 参掛へ登録	(<u>2</u>)

②「フォルダ選択」画面が表示されます。

見積歩掛の追加先のフォルダを選択し、[開始]をクリックします。

(一番上の「見積歩掛」を選択して、**左下の[フォルダ作成]よりフォルダを作成する** ことができます。)

択して下さい。
<u>S</u> <u>キャンセル</u>

③以下メッセージが出ましたら、登録作業は完了です。

情報	×
1	見積歩掛への登録が完了しました。
	ок

④工事内では、見積歩掛に登録した表には付箋が付き、見積歩掛登録済みの表示に

なります。

緑色のストライプの付箋が付きます。

Γ		付箋	名 称 / 規 格	数量	単位	~
	1	<u>ل</u> م	独自步掛1	1	в	
	2	西	独自歩掛2	1	m3	-

※Gaia に登録のある単価を使用している場合は、総括表に従い自動的に単価金額が更新されます。

ただし、総括表の単価の優先度設定が登録時の設定と異なる場合は単価金額が更新されな い場合もございます。ご了承ください。

目珪步出	Gaiaに入っていない歩掛(見積歩掛)を登録する
九傾少田	全工事共通で使用できるように、工種画面から見積歩掛に登録 することができます。

1. 「工種」画面を開く

「工事名表」にある[工種登録]を クリックします。



※工事内の [積算] でも同様の操作が可能です。 その場合、編集不可をクリックし、編集可能(工種画面の背景が白)

にしてから登録を行ってください。

S 24三重 - Gaia9								
<u>工事(K)</u> 編集(E)表示(Y)単価(I) 経費(C) ツール(L) オプショ		単価(I)	編集(E)	表示(⊻) ;	お気に入り	(A) 履歴	(R) 設定(9	5) ヘレプ(L
日本 - 「「「」」」 日本 - 「「」」 日本 - 「「」本 - 「」本 - 」本 -		偏集不可	□ ▲田 縮小	した 縦込み有	动新規	検索	霍 Excel出力	▲ 上へ 通常
工事名表に戻る(F12)	-	整備局	単価:1:	3関東地方	整備局(東	平成273	年10月	
■I事別〜 × 上	$\neg \checkmark$	単価 工	種 損料	와				
		工種		見積				
		■ツリー				×	■一般土	木 (平成283
		🕞 🧰 It	Ŧ			*		

2. フォルダを作成する

「工種」画面が表示されます。[見積](①)を選択し、[新規(②)]をクリックします。 ※初めてフォルダを作成する際には時間がかかる場合があります。ご注意ください。 画面右側の「名称」欄の最下段にフォルダが追加されます(③)。

名称を入力し、[Enter] を押します。

5 工種 【単価年度:平成27年10月/単価地区	:東京23区(東京都ブロック)】 【損料年度:平	
単価(工) 編集(E) 表示(⊻) お気に入り(A) 歴	(R) 設定(S) ヘルプ(出)	
▲ 編集可能 縮小 絞込み有効 新規 検索	(1) (1)<	
整備局単価: 13関東地方整備局(東 平成272	軍10月 東京23区	В
単価 工種 損料 <u>工種 見積</u>	■目弁止也	
□	- 名称	917
□	1 見積歩掛1	フォルダ
一家ごみ箱	2 見積歩掛2	フォルダ
		11.

フォルダには2種類あります。 フォルダ…工種の内容ごとにフォルダ分けする場合に使用します。 見積タイプ…見積タイプの中にフォルダを作成することはできません。 フォルダに「見」と書かれています。 今回は、フォルダ分けを行わない場合の手順をご説明します。

右側の「タイプ」欄の「フォルダ」をダブルクリックし、「見積タイプ」を選択します。 確定後、ダブルクリックします。

E	<u>n</u>			
単価 工種 損料				
工種 見称	<u>t</u>			
■ツリー ×	■見積歩掛			
□	名 称	タイプ		
由・自見積歩掛1	1 🧰 見積歩掛1	フォルダ		
1 元祖少田2 - 〇〇 元祖少田2 - 〇〇 ごみ箱	2 🧰 見積歩掛2	フォルダ 🔹		
		フォルダ		
			亡 作)	212
		- ● 見積歩掛	-1	フォルダ
		2 🧰 見積歩掛	2	見積タイプ
				-

<u>3.</u>	歩掛を作成する	

開いた画面にて、ツールバーの[新規]をクリックするとフォルダが作成されます。

同じフォルダ内に複数行作成することも可能です。

😵 工種 【単価年度:平成27年10月/単価地区:東京23区(東京都ブロック)】 【損料年度:	
単価(I) 編集(E) 表示(Y) お気に入り(A) 履歴(R) 設定(S) ヘルプ(H)	
【20	
整備局単価: 13関東地方整備局(東 平成27年10月 東京23区	
単価 工種 損料	
工種見積	
■ツリー × ■見積歩掛2	
□	単位
 田 □ 見積歩掛1 目積歩掛2 	
一般ごみ箱	
	F
	11.

表をダブルクリックすると、見積歩掛表が開きます。 見積歩掛の内訳を作成します。

▶ 見積歩掛	登録 - Gaia9	-> (o) 44-14		(+75588(0))				Σ
豆球(L) # (L) # 積算 単		■ノ(U) りボー ● ● 手書 注釈	挿入 ■ 位置 最後	し、 かーソル上 かーソル上 かーソル下				
	テスト		見利	責歩掛表			1 武	•
	名称/規格	数量	単位	単価	金額	備考	要素	*
1	普通作業員	3	~	15,400	46,200	[H29.3]	労務費	
2	法面工	1	X	23,200	23,200	[H29.3]	労務費	
3 🛒	諸雑費	10	%		6,940		経費	
								-
							4	
		1式当り		76,340 円	合計金額		76,340 円	1
-								
	-							

登録した内容を確認し、上へをクリックし、画面を閉じます。

④工事内では、見積歩掛に登録した表には付箋が付き、見積歩掛登録済みの表示に

なります。

緑色のストライプの付箋が付きます。

	付箋	名 称 / 規 格	数量	単位	~
1	西	独自歩掛1	1	в	
2	凾	独自歩掛2	1	m3	

※Gaia に登録のある単価を使用している場合は、総括表に従い自動的に単価金額が更新さ れます。

ただし、総括表の単価の優先度設定が登録時の設定と異なる場合は単価金額が更新されな い場合もございます。ご了承ください。

<<制限事項·注意事項>>

・見積歩掛の登録は、常に追加で登録となります。上書きはできません。

・年度管理はできません。

・ダウンロードからのデータ更新では更新されません。

・BeingCabinet 連携はできません。

・見積歩掛登録画面では、以下の制限事項、注意事項があります。

施工パッケージの根拠は Excel 出力されません。

自動積算は行えません。

・見積歩掛一覧から登録表を工事に計上する場合、以下の制限事項、注意点があります。 再実行は行えません。

見積歩掛表内に計上されている見積歩掛表(子代価)の元参照は行えません。

・サーバーが見積歩掛対応バージョンのシステムで、クライアントが見積歩掛未対応の バージョンの場合、クライアント側で表示に不具合が起こります。必ずサーバーと クライアントのシステムバージョンをそろえて下さい。

・登録する表の金額を手入力している場合(手書き丸めがかかっている)、その丸めを 外し

て見積歩掛に登録します。

この登録表を設計書に計上した場合、工事別環境設定の表丸めが反映されるようになります。

・合計特殊処理した表を見積歩掛登録した場合、合計特殊処理は解除され、通常の表として登録します。(合計特殊処理は埼玉県のみの考え方です)

・(農林の設計書等で子代価を展開している場合)表内に冬期補正、亜熱帯補正などがか かった単価がある表を見積歩掛に登録し、補正率の異なる設計書に計上し、再積上げを 行っても、補正率が更新されません。